



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題	「より良い明日のために今日を築く」
アジア会長主題	「アクション！」
西日本区理事主題	「風となれ、ひかりとなれ」
中部部長主題	「輪を拡げ 明るく楽しく 元気よく YMCAとともに」
クラブ会長主題	「見つける！つなげる！よくする！ 新しいポジティブネットの輪を創る」

がんばれ日本 がんばるワイズ

2020年 4月号

—<今月の聖句>—

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。

テサロニケの信徒への手紙 5章16節～18節

クラブホームページ <http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus2019-2020.pdf>

2020年 4月例会 他ご案内

@ 4月第一例会 (担当 坂口・信田・早川)

日本語学院歓迎会サポート

と き: 4月18日(土)

時 間:

ところ: 庄内緑地

- ・実施予定です
- ・詳細は後日案内

@ 日和田キャンプ場 (担当 信田・坂口)

リーダートレーニング・サポート

と き: 5月3日(日)～4日(月・祝日)

時 間: 13:00～

ところ: 日和田キャンプ

- ・実施予定ですが事前の確認が必要

@ 4月第二例会・事務例会

と き: 4月16日(木)

時 間: 19:00～

ところ: YMCA日本語学院

@ 5月第一例会・東稜クラブ合同例会

- ・延期となりました
- ・開催日は後日決定

3月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(月)	
	在 席 者	14名	第 1 例 会	-名	当 月・切 手	-	ニコ BOX ノート	-
例会出席者	-名	第 2 例 会	-名	当 月・現 金	-	感 謝 ファンド	-	
当月出席率	-%	そ の 他	-名	累 計	-	累 計	-	

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”
＝強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う

会長からのメッセージ

Stay Home !

グランパスクラブ会長 吉田 一誠

新型コロナウイルス感染の恐れがあるということで、イベントの中止などが始まってから3月末でほぼ1ヶ月余りとなりますが、今や状況はより逼迫して来ました。Stay Home ! 報道される各国の状況から見ると日本はまだましなように思われますが、明日は我が身という状態になるのはもはや不可避のようにも思われます。

そのような中、誰しも少しでも早く回復して欲しいと願っていますが、いつまで待てば回復するのか見通しが全くつきません。これが今まで〇〇ショック、とか××危機のようにある程度の時間を耐えれば回復するだろうと思えた経験と違うところです。

”回復“というのは今までと同じような社会の仕組みの中での生活に戻るとのことかと思いますが、この新型コロナウイルスパニックは今の社会の構造や仕組みの問題や矛盾を一挙に噴出させています。従ってこれが治まったときには今までとは社会の仕組みが変り、元のような社会に戻ることはないように私には思われます。

イベントや会合の中止、延期、ひたすら Stay Home ! 考える時間はたくさん、たくさん! 与えられました。

この機会に人生の棚卸し! ワイズの活動も! ?

今はまだ何をどうするという考えがまとまってはいませんが、来たるべき変革の時には何か新しいことをみんなで始めましょう。

2020 年度中部部会開催について

次期中部部長 早川 政人
次期中部部長を拝命して9ヶ月になりました。

中部部長の主題は『知らせよう! ワイズの奉仕活動を』としました。今、新型コロナウイルスで世界中が混乱しています。西日本区の役員会も中止となり理事始め役員の方々も苦勞されていることだと思えます。来季の中部のプログラムを予定の計画を次期中部書記の荒川ワイズと次期中部事務局長の高田ワイズと打合わせを行い、中部部会を2020年9月20日(日)に決めました。

これから具体的な企画などを決め進めていこうと思えます。クラブのメンバーを始め中部のワイズの力をお借りしたいを思えます。

中部のクラブは縮小傾向にあります。まとまりと元気には自信が持てます。新型コロナウイルスに負けないように乗り切りましょう。

2019 年度リーダー感謝会

開催日: 2020年3月22日(日)

場 所: 南山ファミリーYMCA

参加者: リーダー・YMCA スタッフ

YMCA スタッフ 谷口みはる

桜の蕾が膨らみはじめた3月22日リーダー感謝会が行われました。今年は新型コロナウイルス感染拡大対策とし、リーダー・OBOG・スタッフのみの参加で行われました。讚美歌「君は愛されるために生まれた」に始まり、中村総主事の奨励「受けるよりは与えるほうが幸いである」これまでの奉仕への感謝と社会へと旅立つリーダーに激励のお話をいただきました。



第2部では、卒業する8名に感謝状と楯が授与され、リーダー達は活動を振り返りながら、思い出や後輩たちへの思い、同じ時間を過ごした仲間への感謝の言葉を述べました。後を引き継ぐリーダー達からは、感謝の言葉と歌で先輩たちの門出を祝しました。活動を支えてくださったすべての人への感謝と、YMCAでの学びと出会いを大切に社会で活躍してくれることを願う会となりました。



[補足]

・2019年度リーダー感謝会については例年通り各クラブがサポート予定としていましたが新型コロナウイルス予防対策としてワイズのサポートはなくなりリーダー・スタッフのみでの開催となりました。

IBC 締結準備・現状報告

ファンド・国際交流委員 松原 行謙

IBC 締結の現状、残念ながら今の状況下では西日本区大会での締結式にロシア側は参加を自粛されました。ネットを通じて IBC 交流覚書と締結認証のため準備を進めています。

Victoria Club のレターをお読みください。



(スメナクラブメンバー)

Very dear our friend Makoto (Gyoken)! So many thanks for your letter and invitation to the Conference in Japan!!!.. It is my great dream to visit your land one day, to meet you, Yoshika and the members of your club! Thanks a lot for the full information the person needs to plan the trip to Japan!..

DEAR FRIEND! You are so kind to be ready to show me the nice places in your Motherland, to accompany me and so on... I am really happy!!!.. But the situation with COVID-19 makes people to change the plans... Very, very sorry... In Russia we are recommended now not to leave the country. I am about 69 in age and I belong to the group of risk (as we call it). So, hope to visit Japan, but not this time... As for MEMORANDUM - it is very good! I agree this document and I am ready to sign it and all the papers to make our Brother Union SMENA-VICTORIA-GRAMPUS by Internet.

Hope we will meet in future and we will enjoy the time together! Let us be in contact! All the best to Yoshika and the members of your club!

Much love from Lyuba, Lena, Sasha, Roma and all the VICTORIA friends!

親愛なる誠(行謙)! お手紙と日本での会議へのご招待ありがとうございます!!!。いつかあなたの国に行き、ヨシカさんやあなたのクラブの人たちに会うのが私の大きな夢です! 日本への旅行を計画するために必要なすべての情報たいへんありがとうございます!

親愛なる友よ! あなたはとても親切で、あなたの母国の素敵な場所を教えてください、私に付き添ってくれる準備をしてくれています... 私は本当に幸せです!!!。しかし、COVID-19 の状況は人々に計画を変更させます... 非常に申し訳ありません... ロシアでは、私たちは今、国を離れないことを薦められています。私は 69 歳くらいで、リスク群(いわゆる)に属しています。だから、日本に行きたいですが、今回は断念せざるを得ません...

MEMORANDUM については、とても良いと思います! 私はこの文書に同意します。そして署名し、インターネットで私たちの兄弟連合 SMENA-VICTORIA-GRAMPUS を作るために、すべての書類に署名をする準備ができています。将来にわたってともに会い、一緒に楽しい時間を過ごしたいです! 連絡を取り合いましょう! ヨシカさんとグランパスクラブの皆さんに、最高の幸あれ!

Lyuba、Lena、Sasha、Roma や VICTORIA の友人たちからたくさんのお愛を!



(ビクトリアクラブメンバー)

東日本大震災から 9 年を迎え思うこと

～誰のための被災地支援なのか?～

阿部 一雄

今回ブリテン原稿を書くにあたり、被災地支援に関わる過去のブリテンを全て読み返しました。

過去 9 年で 7 回の被災地訪問、陸前高田市長講演、被災地特産品販売、卓話など幅広く活動してきたことが読み取れます。また、参加した方々の想いや感想が 1 つではなく、改めて読み返すとその時に感じた想いが蘇り、参加者各位の言葉に共感をおぼえました。過去のブリテン URL を下記に記しますので、お時間のある時に眺めてみてください。写真を眺めるだけでも、その時に感じた事や風景が思い浮かびます。そして、参加された皆さんのブリテンを読んでいると共通点があることに気づかされました。それは「誰のための被災地支援なのか?」です。今回の東日本大震災は地震・津波・放射能の三

重苦でした。従って皆さんが感じていたように1つの解ではないことは明白ですが、それらがちぐはぐとなり、場当たりの被災地支援につながり「誰のための被災地支援なのか？」に行きつきます。

3.11から9年が経ち、形の上では復興が進み、延期とはなりましたがオリンピックも開催できるまでになりました。しかし、皆さんも抱える「誰のための被災地支援なのか？」を解決しない限り、本当の復興にはつながりません。

さて過去ブリテンを読み返す中で、書き記しておきたいことがありました。

2011年4月に実施された東日本大震災災害支援物資運搬に坂倉洋さんが参加されていました。私自身は震災直後に起きていることが直視出来ていませんでした。言葉では被災地支援を語っていたとは思いますが、どこか別の国で起きていることだと、事実を認められない自分が居たと思います。そうした意味で、いち早く被災地に赴いた坂倉洋さんの行動に敬服しました。そして度々被災地特産品を紹介し、販売されていた吉田一誠さんの行動です。仕入れを行い、バザーや講演会で販売をしたわけですが、皆さんも承知されているように「被災地支援は理解できるが、子供に東北の食材を食べさせるわけにはいかない」と南山バザーで話されたお母さんの話を聞き、建前と本音の違いを思い知らされました。しかしながら、こうした風評的な話と異なり、東北の食材は美味しく、吉田一誠さんが取り組まれた試みは大変よい考えであったと思います。吉田さん、ご苦労様でした。



郡山市の仮設住宅を訪れた際、町議員の方が「何年経っても、仮設住宅に住む方は居なくなりませんよ」と話されていたことをよく覚えています。その意味は家賃、光熱費を支払わなくても良いことに起因していると思われるのですが、今だ仮設住宅に住まざるおえない方々がおられ、全てを撤去できていない現状を考えると、議員が話されていたことが本当であり、本当の復興が果たされていないことが読み取れます。



昨年アジア大会に参加した際、福島第一原子力発電所から1キロ程度まで近づき、ごらんなのような風景が残る地域を自家用車で再度訪れてきました。震災から8年経ちましたが、まだこうした地域がある横では黙々と道路整備が行われていました。



国道から路地に入る入口は嚴重に柵が施され、容易に原子力発電所には近づけません。また、ところどころに除染で回収された土が黒い袋に納められ、積み上げられていました。まだまだ先の見えない復興が続いています。



参加者を見ると、最初はグランパスメンバーだけでしたが、他クラブの方々も徐々に参加して頂けるようになり、名古屋グランパスクラブとして一定の役割を果たしてきたと思えました。これらは仙台YMCAや東北各ワイズメンズクラブの方々のご協力なくして成しえなかったことです。協力して頂いた皆さまに改めて感謝致します。

多くの方々を巻き込み、2011年から始まった被災地支援は2019年の第28回アジア太平洋地域大会

で名古屋グランパスクラブとして活動することは一旦締めくくりましたが、東北の方々へ想う気持ちは変わらず、引き続き支援を続けていきたいと思いました。このブリテンの初めに書いたように、「誰のための被災地支援なのか？」と疑問を抱えながらも進む被災地支援が日本流の支援だと私は理解しています。個々でできることは少ないですが、これからも「語りべ」から伝えてくれたことや見た風景など都度伝えていく努力を続けていきたいと、強く思いました。

(URL をクリックしてブリテンにアクセスしてください)

東日本大震災災害支援物資運搬報告

日時 2011年4月19日(火)~21日(木)

場所 仙台市 石巻市 南三陸町

参加者 坂倉洋

<http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/gburiten1105.pdf>

第1回被災地支援ツアー

日時 2012年11月3日度~4日(日)

場所 仙台市近郊

参加者 阿部、荒川、坂野、高田、松原、早川、坂本、吉田 ゲスト：荒川メネ、吉田メネ、川本龍資(名古屋)

<http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/gburiten1212.pdf>

東日本大震災から学ぶ講演会 陸前高田市長講演

日時 2013年5月11日(土)

場所 東別院ホール

<http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/gburiten1306.pdf>

第2回被災地支援ツアー

日時 2014年4月12日(土)~13日(日)

場所 陸前高田市 石巻市 山元町(岩佐農園)

参加者 阿部+メ、荒川、下村、高田+メ、坂野、松原+メ、吉田+メ、ゲスト参加 柴田勝義 京都東稜クラブ：大槻裕樹 もりおかクラブ：井上修三、長岡雅彦 仙台青葉城クラブ：加藤重雄、清水弘一、仙台YMCA：村井信夫総主事、堀越祥浩

<http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/gburiten1405.pdf>

第3回被災地支援ツアー

日時 2015年4月11日度~12日(日)

場所 田老 大槌町 久慈市

出席者 グランパスクラブ：阿部、遠藤、高田(+メ)、早川、松原(+メ) 京都東稜クラブ：大槻(+メ)、佐川、菱田、三科、川島 名古屋クラブ：渡辺、東海クラブ：鈴木 一般参加(会友)：柴田勝義 現地同行者：もりおかクラブ：井上、三上 仙台青葉城クラブ：加藤 仙台YMCA：斎藤(ドライバー)

<http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/gburiten1505.pdf>

第4回被災地支援ツアー

日時 2016年4月9日度~10日(日)

場所 福島第一原子力発電所近郊

出席者 阿部、高田+メ、松原+メ、吉田+メ、早川、渡辺(名古屋) 小沢、橋崎(姫路グローバル)

東稜：大槻+メ、佐川+メ、近藤+メ+コ、菱田三科 会友：柴田

<http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/gburiten1605.pdf>

第5回被災地支援ツアー

日時 2017年4月8日(土)~10日(月)

場所 仙台市 東松島市 石巻市 女川町

参加者： グランパス-早川、阿部、荒川、三井、高田+メネ、吉田+メネ、名古屋クラブ-川本、渡辺、京都東稜クラブ-大槻、佐川+メネ 鳥取クラブ-早川 姫路グローバルクラブ-橋崎、小澤、前田

<http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/gburiten1705.pdf>

第6回被災地支援ツアー

日時 2018年4月14日(日)~15日(日)

場所 福島県いわき市近郊

参加者 グランパス：荒川+メネ、高田+メネ、松原+メネ、早川、吉田+メネ

ゲスト 柴田 名古屋：渡辺真悟、川本龍資 京都東稜：大槻裕樹、洋子、川島英雄、八千代 鳥取：早川 悟 仙台広域：清水弘一 仙台青葉城：加藤重雄、真子 仙台広瀬川：村井伸夫

<http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/gburiten1805.pdf>

第7回被災地支援ツアー 第28回アジア太平洋地域大会

日時 2019年7月19日(金)~21日(日)

場所 仙台国際センター

参加者 阿部、荒川、早川、松原、松原メット

<http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/gburiten1908.pdf>

アイスランド旅行記

連絡主事 遠藤美恵子

オーロラを見たい！氷の洞窟に行きたい！という希望が叶い、アイスランドに行ってきました。セントレアを出発し、ヘルシンキ1時間乗り換えを早歩きでクリアして、アイスランド、ケプラヴィーク空港へ到着しました。

早速その日の夜はオーロラツアーでした。ガイドさんのおじいさんの家の近くが、暗くて空が広くていい場所だ！ということでその場所でオーロラ観察をしました。到着したのは真っ暗で、空が広いのですが、隣はお墓という場所で、何だかドキドキを感じながら10人くらいのツアー仲間と空を見上げました。星がとてもきれいに見える日で、遠くの山の上にはうっすら緑色に見えるものがオーロラだということでした。ぼやっとして、町明かりにも見えるその光が、アイスランドにいる間で一番のオーロラでした。その後、アイスランドにいる間、2日に1回は夢を見るほど見たかったオーロラは、飛行機の中でうっすら姿を現してくれました。

2日目からは毎日様々な場所へ小型バスに乗って回ります。



(ゲトルフォスの滝)

ゲトルフォスの滝、ストロククル間欠泉、シンクヴェトリル国立公園（北米プレートとヨーロッパ大陸プレートの境目が地表に出ているところで、民主議会発祥の地で歴史的にも大切な場所。

セリヤランズフォスの滝、漆黒の砂でできた砂浜が続くレイニスフィヤラなどなど。どこに行っても自然が素晴らしく、移動の車でも外の景色がどんどん変わり、この山を越えたらどんな景色なんだろう？と期待してみても、期待を裏切らない景色が広がっていました。

アイスランドの観光ツアーのガイドさんは、運転しながら様々な話をしてくれます。ガイドさんたちは、休憩場所のおススメの食べ物、その場所の歴史、地理の話などなど、豊富な知識をわかりやすく伝えてくれます。そこに、アイスランドの音楽を交えて移動の時間も楽しい時間を作ってくれます。プロのガイドは、こんなに上手に自分の国のことを伝えられて、楽しませてくれて、言葉が通じなくても安心感を与えてくれるのだと勉強になりました。

4日目に向かったヴァトナヨークトル氷河国立公



園が氷の洞窟がある場所です。
(氷の洞窟入り口)

ヨークルスアウルロウン氷河湖の景色は本当にきれいで、ずっと見ていられる素晴らしい景色でした。



(ヨークルスアウルロウン氷河湖)

そこから特別な車に乗り換えて氷の洞窟を目指します。15分経てば天気が変わるといわれるアイスランドの天気ですが、この日は1日ずっと晴れ！スーパーブルーと呼ばれる氷の洞窟が青く見えるにはいくつか条件が必要で、光も大切な条件になります。大きな氷河の中に地下に入るような入り口があり、そこに入ると青い世界が広がっていました。

氷の形も色も様々でとてもきれいで、当たり前なのですが、自然が作ったものだと思うと心にグッとくるものがありました。



(氷の洞窟出口)

どこに行っても助けてくれる優しい人いましたが、英語がわかればもっと新しい知識に出会えるし、自分の言葉でコミュニケーションが取れたらもっと楽しいだろうと感じる出来事も多くありました。言葉がわからないとニコニコしているだけしかできなくて、でも話したいことがあるのにうまく伝わらなくて、もどかしさと悔しさを感じました。でも、こんな風に接してくれたら嬉しいんだな、という学びも多く、日本で人を受入れするときの、相手にとって安心できる環境作りの学びにもなりました。ということで、10年後英語は話せるようになるように勉強積み重ねていきます！

日本語学院卒業式



荒川 恭次

3月19日(木)西文化小劇場にて名古屋YMCA日本語学院の卒業式が執り行われました。第1期生33名が晴やかに巣立ちました。チューターの私が担当したベトナム出身のフー君も無事卒業。大学進学もでき一安心です。同期のティーさんはベトナム民族衣装で淑やかな一面を見せていました。私がチューターとして彼らにどう関わられたのか分かりませんが、この先の彼らの未来が明るいものであることを祈るばかりです。おめでとうございます。



Y M C A た よ り

3月も終わりに近づき春の気配も近づいてきました今年もリーダー感謝会が無事に行われました。8名のリーダーが社会人となります。

1年生から活動が続けていたリーダーも多く、卒業生からのメッセージはとても言葉の力を感じられるものでした。1人で抱えずに周りに頼り、頼られるような人にもなるために力をつけないといけない、続けてきたから感じられることもある、何より子どもたちの成長を感じられたことが嬉しかったなど。YMCAを通して子どもや保護者のみなさんにかかわり、ワイズの皆さんや会員のみなさんに支えられ、この1年もYMCAの活動を共に作ってくれてことに感謝です。今後はOBOGとして関わる機会があるかと思えます。その時は仲良くしてあげてください。

・5月の予定

5/3~5/5 日和田トレーニング(予定)



名古屋グランパスクラブ
連絡主事 遠藤美恵子

今 後 の 予 定

- ・5月3日~4日 リーダートレーニングサポート
- ・5月8日「韓国」について交流会 日本語学院
- ・5月21日 第二例会 日本語学院
- ・6月13日 第23回西日本区大会 琵琶湖ホール

そ の 他

1. 今月の誕生日

happy birthday

4月24日(荒川 恒子)

4月27日(早川 政人)



2. 例会等出席状況

3/6 第一例会 中止
3/19 第二例会 中止
3/22 リーダー感謝会 サポート中止
3/28 チャリティーウォーク 中止

1	青木 哲史				
2	阿部 一雄				
3	荒川 恭次				
4	遠藤恵美子				
5	坂口 功祐				
6	信田伊知郎				
7	下村 明子				
8	高田 土嗣				
9	服部 庄三				
10	早川 政人				
11	坂野 清治				
12	松原 行謙				
13	三井 秀和				
14	吉田 一誠				
	ゲスト				
	計	-	-	-	-